

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	6	5	4	1	4
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	5	10	7	20 (28)	24
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0	1	0	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	4	3	6	3 (4)	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	2	4	2	1 (2)	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和7年第6週(2月3日~2月9日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8		1	2		4	1		
三類	3	コレラ	3							3	
四類	2	A型肝炎	1						1		
		レジオネラ症	1					1			
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1							1	
		急性弛緩性麻痺	1			1					
		後天性免疫不全症候群	1								1
		梅毒	7					5		2	
		百日咳	5					5			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり15.13人の報告があり、増加が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり0.96人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

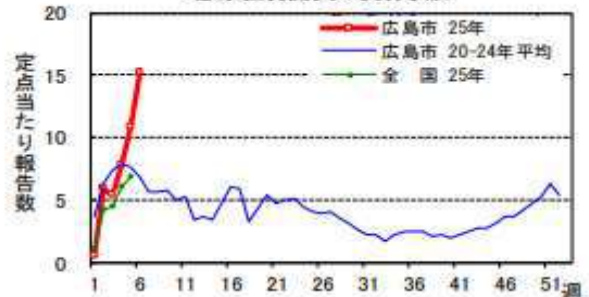
3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.67人の報告がありました。手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用など、感染予防対策を徹底しましょう。

4 百日咳

5件の報告があり、今年の累計は17件となりました。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	62	1.72	11.10	↓	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.08	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	96	2.67	↗	⇒		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.01	
小児科	RSウイルス感染症	22	0.96	0.11	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
	咽頭結膜熱	8	0.35	0.48			流行性角結膜炎	13	1.63	0.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	1.35	1.57	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	348	15.13	6.87	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	3	0.13	0.19			マイコプラズマ肺炎	4	0.67	0.06	
	手足口病	-	-	0.19			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	5	0.22	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.03	
	突発性発しん	2	0.09	0.23							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1.2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1.5～2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減)

横ばい ⇔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	10	30歳代、60歳代、60歳代・市外、80歳代
4	レジオネラ症	1	1	60歳代・市外
5	梅毒	5	14	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・1人
5	百日咳	5	17	10歳代・2人、30歳代・1人、60歳代・2人